

TDK・半導体エネ研「フィルム」に

日刊工業新聞社は「第1回(03年度)モノづくり部品大賞」の受賞部品を別表の通り決めた。本賞は競争力の源泉である部品にスポットを当てることによって、わが国のモノづくりを再興し、産業・社会の発展に貢献に寄与することを目指して創設した。61社から、機械、電気・電子、自動車などの部品80点の応募があった。贈賞式は30日午前11時から東京・飯田橋のホテルグランドパレスで行い、受賞各社に表彰状と盾、副賞(賞金、記念品)が贈られる。

第1回モノづくり部品大賞

.....受賞部品リスト.....

(同じ賞は応募受け付け順、複数社応募の表記は五十音順)

- ◇部品大賞 「フィルム太陽電池」 TDK、半導体エネルギー研究所
- ◇日本力賞 「ケナフポリ乳酸基材(新型トヨタ ラウムのスペアタイヤカバー)」アラコ、東レ、トヨタ自動車
- ◇同 「トツプラネジ」 ハイオス
- ◇部品賞 「圧電音響デバイス」 NEC トーキョー
- ◇同 「超深彫り切削加工用エンドミル『エポックペンシルディープボール』」 日立ツール
- ◇同 「鉛フリー高性能エンジン軸受」 大豊工業
- ◇同 「UPG(超小型メタルガスケット継手)」 フジキン
- ◇同 「小径CBN工具 CBNスーパーフィニッシュボールエンドミルSFB200」 日進工具
- ◇同 「受話用スーパースリムレシーバ『Sレシーバ』」 松下電子部品
- ◇同 「リテーナ入り直動案内装置」 THK
- ◇同 「流体動圧軸受ユニット」 NTN、日本電産
- ◇同 「強誘電性液晶マイクロディスプレイパネル」 ミヨタ
- ◇同 「ディーゼル粒子状物質減少装置用金属フィルター」 オーデン
- ◇同 「積層型圧電セラミックスピーカ」 太陽誘電
- ◇同 「ロータリー・ハブテックコマンドー」 アルプス電気
- ◇同 「エアアクチュエータ『Airsonic』」 住友重機械工業
- ◇同 「IGT99267シリーズ(携帯電話用1/9型CIF対応CCDカメラモジュール)」 三洋電機

- ◇奨励賞 「溶接用倣い装置」 エイム(東京都青梅市) / 「スピーカーターミナル(スピーカー端子及びそのプラグ)」日本ディックス(東京都品川区) / 「高速デジタル信号対応超小型テストクリップ」メカノエレクトロニクス(東京都立川市) / 「非鉄金属用エンドミル工具『プリズム3000』」ピーティーティー(愛知県尾張旭市) / 「焼きばめ式保持具」MSTコーポレーション(奈良県生駒市) / 「Qロック」ナベヤ(岐阜市) / 「後方死角を無くし危険予知運転を可能にする『リアビューモニターTKVS20』」日本ウェーブテック(川崎市中原区) / 「キャスト『100X-Nシリーズ』」村製作所(東京都北区) / 「ポンプレッサ」田野井製作所(東京都品川区) / 「分別廃棄型リングパインダー金具」バインド・ギアコーポレーション(千葉県松戸市) / 「防塵ガスケット」ケーイーエフ(千葉県佐倉市)

応募部品を日刊工業新聞社内予備審査した後、外部の専門家で構成する審査委員会アドバイザーに審査を依頼、アドバイザーの審査をもとに社内審査委員会で最終決定した。

部品賞17件のうち、特に優れたものに贈られる部品大賞にTDKと半導体エネルギー研究所の「フィルム太陽電池」を選んだ。また日刊工業新聞の04年キャンペーンテーマ「進化する 日本力(にっぽんぶらんど)」にちなんで「日本力賞」を、部品大賞に次ぐものとしてアラコと東レ、トヨタ自動車の「ケナフポリ乳酸基材のスペアタイヤカバー」、ハイオスの「トツプラネジ」の2部品に贈ることとした。

さらに借しくも部品賞を逃した中堅・中小企業の応募部品のうち、創意工夫に富んだ12点に奨励賞を贈ることを決めた。(16日付に受賞部品の概要を掲載します)

第1回モノづくり部品大賞

部品賞

日刊工業新聞社が創設した「モノづくり部品大賞」第1回の受賞部品が決まった。受賞部品はいずれも技術の独創性が高く、完成品の性能向上、低コスト化、省エネルギーなどに大きく貢献するものばかり。日本のモノづくり復興への原動力となることは間違いない。受賞部品の概要を紹介する。

部品大賞はモノづくりの競争力の源泉である部品にスポットを当てることにより、わが国のモノづくりを再興し、産業・社会の発展に寄与することを目的に創設した。今回は機械、電気・電子、自動車などの部品80点の応募があった。独創性、性能、経済性、実績、環境・安全などの面から審査し、部品大賞1点、日本力(にっぽんぶらんど)賞2点、部品賞14点を選んだ。日本力賞は本紙の04年キャンペーンテーマ「進化する日本力」にちなんで賞。また借しくも部品賞を逃した中堅・中小企業の応募部品のうち、創意工夫に富んだ12点に奨励賞を贈ることとした。

UPG(超小型メタルガスケット継手) フジキン

フジキン(大阪市西区)が開発したUPG(超小型メタルガスケット継手)は、半導体製造装置のガスを供給する配管の継ぎ手として使用する。従来に比べて70%小型化し、液だまり部がないためガスによる腐食にも強い。

封構造とした。シール性や外部に対しての強度が向上したほか施工時に接触面積が変化するため、継ぎ手の締め付け時に締め付けが確実に行われていることも判断できる。

従来、継ぎ手のシール部構造は1カ所だったのが、同製品は3段階の密

